

入鹿小だより

～わくわく登校・ニコニコ下校～

熊野市立入鹿小学校
校長 樋口 佳洋
平成 30 年 6 月 28 日
第 6 号

土曜授業にて ～学校環境デー・救急救命方講習会～

6月16日の土曜授業では、学校環境デーと救急救命講習会、ふたつの取組をしました。

まず、入鹿小学校では毎年この時期に学校環境デーとして、運動場脇の側溝に1年間であまった砂を運動場に返したり、土山に盛ったりしています。作業にかかる前、側溝のふたを開けると、深いところではほぼふたのあたりまで土で埋まっていた。前日に降った雨のせいで土はずっしり重かったのですが、児童全員で手分けしながら、一生懸命に土をさらいました。

作業終了後は右上の写真の通り溝の土はすべて取り除かれました。これで水もスムーズに流れるようになり、これからの雨の季節に備えることができます。



次は熊野消防紀和分署の皆さんを講師にお迎えし、救急救命法講習会を行いました。昨年までは保護者と

職員のみを対象としていましたが、今年は児童もこの講習会を受けました。登下校中道路に、帰宅したら家の中に、誰かが倒れていることがあるかもしれません。そんな時、たとえ低学年でも、119番通報したり、AEDをもってきたりと、できることはあります。命にかかわることですから、みんな真剣に話を聞き、心臓マッサージや人工呼吸、AED操作を体験しました。なお、この近くでAEDは小学校、中学校、市役所紀和庁舎、高齢者福祉センターに設置されています。万が一のときのために知っておいてください。

7月の予定

- 3日(火) 水泳指導 (B & Gにて)
- 6日(金) ALT来校、親子ユニカール大会 (19:00～ 本校体育館)
- 10日(火) 水泳指導 (B & Gにて)
- 13日(金) ALT来校
- 16日(月) 海の日
- 20日(金) 終業式
- 21日(土) 夏休み (9月3日まで)

任国内旅行

日本人学校に派遣されている間、何度かブラジル国内を旅行する機会がありました。派遣教員の間では、派遣先の国内の旅行に行くことを「任国内旅行」国外を「任国外旅行」と言っています。

前回派遣先が南米と聞いて、ガッカリはしなかったと書きましたが、せっかくどこかの国へ派遣されるのなら、「自分が観光では行かないであろう国がいい」との思いがあったからです。みなさんはいかがですか。観光でブラジルに行こうと計画を立てたことはありますか。片道24時間かかりますから、私は行きたいと思ったことはありましたが、計画を立てることはありませんでした。だからこそ、ガッカリした気持にはなりませんでした。

ひと口に任国内旅行といっても、マナウスは広いブラジルの北部に広がる熱帯雨林のど真ん中になる街ですから、旅行するには飛行機を使うことになります。みなさんがよくご存じの、リオ・デ・ジャネイロやサンパウロまでは飛行機で3時間半かかります。日本（名古屋や大阪）からならグアムや台湾辺りまで行けてしまいます。

10月、私たち家族が初めて行った任国内旅行は、サンパウロへの日本食材買い出しでした。これが一番の目的でしたが、家族のうち、私にだけはもうひとつ目的がありました。それは、伝説のF1ドライバー、「音速の貴公子」アイルトン・セナ選手のお墓参りでした。赴任してまだ半年しかたっていませんでしたから、ポルトガル語も満足には話せません。しかし、そこはブラジルの英雄のお墓です。タクシーの運転手さんは「モルンビー（墓地の名前）」「セミテリオ（お墓）」「アイルトン・セナ」だけで、私たちがどこへ行きたいのかを理解してくれました。セナのお墓の周りだけは広くスペースがあけてあり、周りのお墓とは全然ちがいます。お墓自体はプレートが1枚あるだけのシンプルなものなのですが、たくさんの花が添えられていました。1994年に亡くなっていますから、そのときで8年経っていたわけですが、たくさんの方が訪れていたのでしょうか。



旅行の本題である日本食材については、さすがサンパウロでした。サンパウロには世界最大級の日本人街「リベルダージ」があります。そこには日本語の看板もたくさんあり、ここはブラジル？と一瞬考えてしまいそうなくらいでした。スーパーマーケットの品ぞろえもマナウスとは比べ物になりません。そして一番のちがいは、マナウスでは考えられない生のマグロが売っていることでした。マナウスで生の魚を食べたいと思えば日本食レストランへ行くか、自分で釣ってくるしかなく、スーパーでは手に入りません。それが日本のスーパーのように売っていることに感動すら覚えました。ブラジルへ来て半年、少しばかり日本食が恋しくなっていたのかもしれないね。

